



いっぺいといっぷく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えます。
市HP「によぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.80 人を見る、暮らしを見る

今年4月から1年間、厚生労働省老健局に研修生として職員1名を派遣しています。派遣する職員が決まった際、その職員に「国は、今の法律や制度に当てはまらないことを解決するために、新しい法律や制度を作っていくところ。だから今、制度がなくて困っている事例、現場の苦勞を聞きたいと思っている。事務ができるだけ研修生なら必要ない。」という話をしました。

その職員は、市民と一緒に計画を作ったり、活動したりする経験はとても豊富でしたが、厚生労働省で担当する介護保険の現場や高齢者と接する経験がありませんでした。そのため、私と話した後、ワンコインサービスを行うNPO法人に協力してもらい、早速一人暮らしの高齢者宅などに足を運んだといいます。

そのときに感じたことを、私に次のように話してくれました。

「高齢者からの『ダンスを動かしてほしい』という依頼で、その方の自宅へ行きました。自分は、ダンスを動かすことしか頭にありませんでした。NPO法人の事務所に戻ってきてから、一緒に行った女性スタッフと話したら、『ダンスの中に娘さんの洋服があったから、前は娘さんと暮らしていたみたい』だとか『家の中の様子では、最近、買い物に行けていないと思う』など、30分程度の滞在時間に、さまざまな情報を察知して、『ダンスが動かせないという直接依頼があった困り事のほかに、困っていることはないだろうか』『解決する糸口はないだろうか』と思いを巡らせていたことに驚きました。今まで自分は、法律や制度だけを見て、その人自身のこと、その人の暮らしぶりを全く見ていなかったと痛感しました。」

生活が多様化し、人々の困りごと、悩みごと多様化しています。1つの課、今までの制度だけでは対応できない事例がたくさんあります。しかし、市役所の職員は、まだまだ縦割りから抜け出せず、話を聞きながら、「その仕事は〇〇課」「その制度は〇〇課」と思うことも多いようです。数多くある業務の割り振りが、職員の中の頭にしっかりと入っていることにも驚きますが、その仕事の割り振り「制度、法律」という度の強いメガネのせいで、目の前の人が見え辛くなっていないか、市職員には、考えてほしいと思います。

若手職員にとっては、上司が見本です。その上司が変われば、この市役所は絶対に変ります。管理職の職員が、まちに出て、人と会い、市民と積極的に交流してほしいとお願いしています。また、市民のみなさんも、街中で市職員を見かけましたら、声を掛け、話をしてみてください。

ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは！西小学校区まちづくり協議会 検索 です。

総会の開催に代えて行った書面議決の結果
8月上旬に西小学校区内の4280世帯に議案書（広報誌「みんなの西まち」）を配布し、243件の議決書の提出がありました。

第1号～第6号の各議案について、いずれも**賛成多数で承認**いただきました。票数、ご意見への回答など詳細は、ホームページ・共生ステーションで掲示しています。多くの皆様のご協力ありがとうございました。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 市が洞小学校 イメージキャラクター

市が洞小学校 小学校区まちづくり協議会
<http://ichigahora.sakura.ne.jp/> (協議会HP)

子どもたちと一緒に収穫が楽しみです
例年は、市が洞小学校2年生児童のさつまいもの植え付けをサポートしてきましたが、今年は新型コロナウイルスのため6月29日に地域の皆さんだけで植え付けをして、8月6日には畑の草取りに汗を流しました。「さつまいもは元気に育っているよ」と順調です。11月には子どもたちと一緒に収穫し、一緒にふかしいもの試食ができればいいですね。楽しみです。

長久手市地域見守り安心ほっとライン **0561-63-5556** 24時間 365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

